

取組みのカテゴリ

労働安全教育の工夫

転倒防止対策

労働安全に関するコミュニケーション

切れ・こすれ防止対策

企業情報

所在地：東京都

従業員：約18,000名

背景

- 過去に発生した労働災害を教訓に、労働災害を削減したいという思いから。

取組内容

1. 【雇入れ時の教育の工夫】

- 労働災害の発生頻度が高い、入社間もない社員への安全意識向上のために教育資料「初めましてサミットです」を作成しました。この冊子を使って教育しています。
- この冊子は、教育後も見てもらえるように極力、写真を使って分かりやすい工夫をしています。
- 教育に加えて、新人が労働災害に遭いやすい月（例えば入社後落ち着いてきた6月など）に注意喚起を行っています。



2. 【転倒防止のためのバックヤードの5S】

- 台車が放置されていることで、躓き、転倒することを予防するためバックヤードの5S活動を実施しています。
- 商品種類別に分けた台車置場に白線を引き、台車を定位置化しました。また、区画ごとに何の台車の置場かを分かるように表示しています。
- 白線は、各台車の定位置化だけでなく、物の置場と通路を区画の明示して、通路への台車の放置をなくしました。
- 今は、決められた台車数しか置けないように区画して、決めた台数を超えると過剰発注であることを一目で分かるようにしました。結果的に廃口の低減にもつながっています。



3. 【注意喚起の店内放送】

- ルールの徹底、確実な取組みと意識の定着を目的に2019年から店内アナウンスを実施しています。
- 開店前に切傷防止対策として耐切傷手袋着用の喚起、腰痛防止対策としてサミット体操や無理な体制の作業予防喚起、慌ただしくなりがちな開店直前には、走って転倒ないように注意喚起を3回に分けて行っています。特に、ケガの多い切傷予防の喚起は3回すべての放送で注意喚起を行っています。

- 当社の労働災害発生件数 1 位の切れ・こすれを削減するため、2017 年から耐切創手袋を各職場へ配布しました。
- 店舗別の労災発生件数の見える化、店長連絡会での安全の話を定例化するなど、店長の安全意識を向上させ、従業員に展開する取り組みを継続して実施しています。
- 今は、労働災害が発生した場合、店長とケガした従業員に本社担当部門が入って原因と対策のコミュニケーションを行っています。

項目	保護具					作業時間	作業日
	作業用手袋	作業用マスク	作業用靴	作業用ヘルメット	作業用ゴーグル		
44 刺身	○					○	
45 刺身盛り付け	○					○	
46 工口作業							
47 魚の解体・解体							
48 魚の解体・解体							
49 魚の解体・解体							
50 魚の解体・解体							
51 魚の解体・解体							
52 魚の解体・解体							
53 魚の解体・解体							
54 魚の解体・解体							
55 魚の解体・解体							
56 魚の解体・解体							
57 魚の解体・解体							
58 魚の解体・解体							
59 魚の解体・解体							
60 魚の解体・解体							
61 魚の解体・解体							
62 魚の解体・解体							
63 魚の解体・解体							
64 魚の解体・解体							
65 魚の解体・解体							
66 魚の解体・解体							
67 魚の解体・解体							
68 魚の解体・解体							
69 魚の解体・解体							
70 魚の解体・解体							
71 魚の解体・解体							
72 魚の解体・解体							
73 魚の解体・解体							
74 魚の解体・解体							
75 魚の解体・解体							
76 魚の解体・解体							
77 魚の解体・解体							
78 魚の解体・解体							
79 魚の解体・解体							
80 魚の解体・解体							
81 魚の解体・解体							
82 魚の解体・解体							
83 魚の解体・解体							
84 魚の解体・解体							
85 魚の解体・解体							
86 魚の解体・解体							
87 魚の解体・解体							
88 魚の解体・解体							
89 魚の解体・解体							
90 魚の解体・解体							
91 魚の解体・解体							
92 魚の解体・解体							
93 魚の解体・解体							
94 魚の解体・解体							
95 魚の解体・解体							
96 魚の解体・解体							
97 魚の解体・解体							
98 魚の解体・解体							
99 魚の解体・解体							
100 魚の解体・解体							



- 過去の労働災害が発生した場所やルールの徹底が必要な作業場など把握しているリスク箇所に注意喚起の表示を行っています。
- 切れ・こすれが起こる作業場には、インパクトのある表示をして意識付けを行っています。



- 労働災害が徐々に減ってきており、大きな災害は発生していない。
- 店長の安全意識が向上している。

- 安全を目的とした定位置管理や作業ルールの遵守の取組みが、異物混入防止など食の安全につながった。
- 労働災害が減ったことで休業が少なくなり、シフトが組みやすくなった。
- 労災保険料の負担が軽減された。

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。